



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三浦 憲二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治
 四半期報告書提出予定日 2019年7月30日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 0587-95-5211

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	128,032	4.6	7,389	5.1	7,384	12.0	5,294	3.9
2019年3月期第1四半期	122,361	5.9	7,790	21.2	8,395	22.2	5,507	17.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 3,491百万円 (21.1%) 2019年3月期第1四半期 4,427百万円 (20.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	58.02	
2019年3月期第1四半期	60.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	388,376	241,880	59.0
2019年3月期	387,556	241,435	59.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 229,287百万円 2019年3月期 228,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		32.00		32.00	64.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		32.00		32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	254,000	2.6	14,000	5.2	14,500	10.7	10,000	4.6	109.59
通期	510,000	0.5	28,000	5.5	29,000	3.7	20,500	13.3	224.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	94,234,171 株	2019年3月期	94,234,171 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,984,358 株	2019年3月期	2,984,323 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	91,249,822 株	2019年3月期1Q	91,249,961 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は128,032百万円と、前年同四半期に比べ5,671百万円(4.6%)の増収となりました。利益につきましては、連結営業利益は7,389百万円と、前年同四半期に比べ401百万円(△5.1%)の減益となりました。連結経常利益は7,384百万円と、前年同四半期に比べ1,011百万円(△12.0%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は5,294百万円と、前年同四半期に比べ213百万円(△3.9%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

客先生産台数の増加などにより、売上高は77,203百万円と、前年同四半期に比べ6,620百万円(9.4%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化努力などにより3,068百万円と、前年同四半期に比べ1,515百万円(97.5%)の増益となりました。

(北米)

米国における収益認識基準が変更になったことなどにより、売上高は27,043百万円と、前年同四半期に比べ721百万円(△2.6%)の減収となりました。営業利益は、メキシコでの諸経費の増加などにより139百万円と、前年同四半期に比べ850百万円(△85.9%)の減益となりました。

(アジア)

中国での客先生産台数の増加などにより、売上高は34,180百万円と、前年同四半期に比べ1,451百万円(4.4%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加があったものの、生産準備費用の増加や売価変動などにより3,620百万円と、前年同四半期に比べ706百万円(△16.3%)の減益となりました。

(その他)

売上高は8,298百万円と、前年同四半期に比べ156百万円(1.9%)の増収となりました。営業利益は、556百万円と、前年同四半期に比べ99百万円(△15.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び投資有価証券の増加により388,376百万円と、前連結会計年度末に比べ、820百万円増加いたしました。負債は未払費用の増加などにより146,495百万円と、前連結会計年度末に比べ、374百万円増加いたしました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により241,880百万円と、前連結会計年度末に比べ、445百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月25日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,698	67,965
受取手形及び売掛金	65,608	61,385
電子記録債権	15,861	15,754
有価証券	11,606	4,203
商品及び製品	15,933	15,648
仕掛品	22,536	21,490
原材料及び貯蔵品	6,723	6,803
その他	11,355	11,474
貸倒引当金	△58	△64
流動資産合計	210,265	204,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,307	34,632
機械装置及び運搬具(純額)	33,336	33,281
その他(純額)	30,303	30,665
有形固定資産合計	98,947	98,579
無形固定資産		
その他	2,269	2,052
無形固定資産合計	2,269	2,052
投資その他の資産		
投資有価証券	29,901	36,751
その他	46,285	46,436
貸倒引当金	△112	△106
投資その他の資産合計	76,074	83,082
固定資産合計	177,291	183,714
資産合計	387,556	388,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,247	38,529
電子記録債務	10,982	11,815
短期借入金	297	—
未払法人税等	3,243	3,048
賞与引当金	8,756	4,413
製品保証引当金	10,105	10,186
その他の引当金	465	522
その他	34,282	40,804
流動負債合計	109,381	109,319
固定負債		
社債	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	343	268
退職給付に係る負債	25,054	25,215
資産除去債務	121	121
その他	1,219	1,570
固定負債合計	36,739	37,176
負債合計	146,121	146,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,864	25,864
利益剰余金	181,796	184,171
自己株式	△5,369	△5,369
株主資本合計	225,147	227,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,889	2,988
為替換算調整勘定	△279	△2,256
退職給付に係る調整累計額	1,077	1,032
その他の包括利益累計額合計	3,687	1,765
非支配株主持分	12,600	12,592
純資産合計	241,435	241,880
負債純資産合計	387,556	388,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	122,361	128,032
売上原価	104,474	110,290
売上総利益	17,886	17,742
販売費及び一般管理費	10,095	10,352
営業利益	7,790	7,389
営業外収益		
受取利息	121	120
受取配当金	201	213
持分法による投資利益	142	68
為替差益	60	—
その他	122	177
営業外収益合計	647	580
営業外費用		
支払利息	24	31
為替差損	—	554
その他	18	—
営業外費用合計	42	585
経常利益	8,395	7,384
税金等調整前四半期純利益	8,395	7,384
法人税等	2,607	1,840
四半期純利益	5,788	5,544
非支配株主に帰属する四半期純利益	280	249
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,507	5,294

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	5,788	5,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△650	100
為替換算調整勘定	△589	△2,082
退職給付に係る調整額	△61	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	△59	△28
その他の包括利益合計	△1,360	△2,053
四半期包括利益	4,427	3,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,062	3,373
非支配株主に係る四半期包括利益	365	118

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(1) 「リース」(IFRS第16号)

国際財務報告基準を適用する在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日)を、当第1四半期連結会計期間より適用しております。

当会計基準の適用によりリースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識すること等を要求されており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

これによる当第1四半期連結会計期間末日の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(2) 「顧客との契約から生じる収益」(ASU第2014-09号)

米国会計基準を適用する在外連結子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(2014年5月28日)を、当第1四半期連結会計期間より適用しております。

当会計基準の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識することが求められております。

当会計基準の適用による当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は以下のとおりであります。

買戻し契約に該当する有償支給取引について、当第1四半期連結会計期間より加工代相当額のみを純額で収益として表示しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高が530百万円減少しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,431	27,704	29,144	114,280	8,081	122,361	—	122,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,152	60	3,584	16,797	60	16,858	△16,858	—
計	70,583	27,764	32,729	131,077	8,142	139,220	△16,858	122,361
セグメント利益	1,553	989	4,326	6,870	655	7,525	265	7,790

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。
2 セグメント利益の調整額265百万円は、セグメント間取引消去であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	64,005	26,868	28,925	119,799	8,233	128,032	—	128,032
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,197	175	5,254	18,627	65	18,692	△18,692	—
計	77,203	27,043	34,180	138,426	8,298	146,725	△18,692	128,032
セグメント利益	3,068	139	3,620	6,827	556	7,384	5	7,389

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。
2 セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4 (会計方針の変更)に記載のとおり当第1四半期連結会計期間より「顧客との契約から生じる収益」(ASU第2014-09号)を適用しております。
この結果、従来の方法によった場合と比べて、北米の売上高は、530百万円減少しております。